

避難所となった市立第一中学校
Secondary school as the emergency evacuation site



サンデー毎日緊急増刊:東日本大震災:2011.04.02

地域社会と学校・阪神淡路大震災と学校避難所

阪神淡路大震災：避難所となった学校・その地域社会に対して果たした役割
The Great Hanshin-Awaji Earthquake
Schools as the Emergency Evacuation Site and its Role for the Community

阪神淡路大震災における避難所の研究：大阪大学出版部：上野 淳他：1989.01.

「兵庫県南部地震における公立小・中学校の 被災状況と地域社会に対して果たした役割」

大橋中学校



避難所になった体育館 4/3

研究の目的

阪神・淡路大震災と学校・避難所

The Great Hanshin-Awaji Earthquake 5:46 am 17th January, 1995

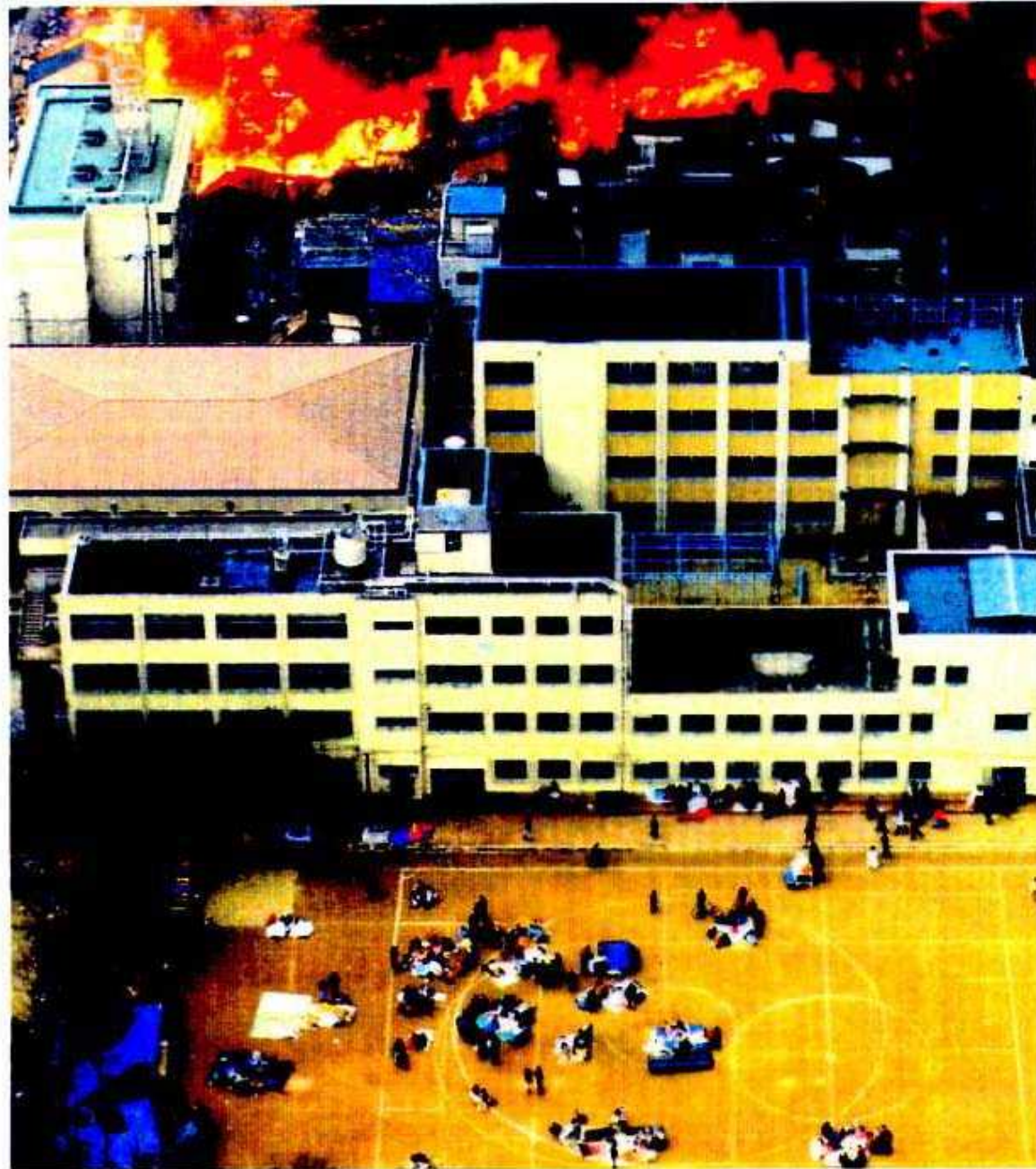
建築計画的課題を整理する。

阪神・淡路大震災における 避難所の研究

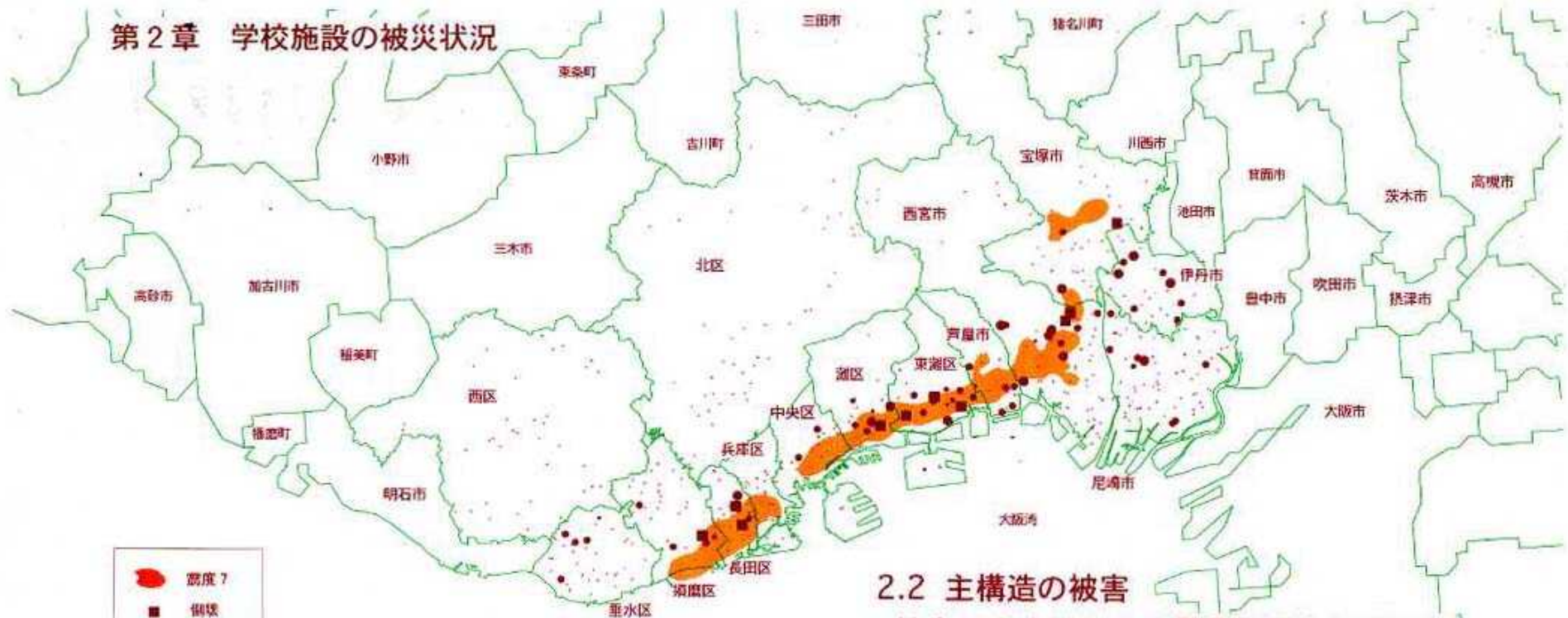
柏原士郎・上野 淳・森田孝夫
編著



大阪大学出版会



第2章 学校施設の被災状況



2.2 主構造の被害

校舎の安全性はある程度確保されていた
現行基準の安全性（神戸市内）

耐震性能調査とアンケート調査解答校の対応

被災状況	総数	構造耐震性能調査					
		倒壊	大破	中破	小破	軽微	無被害
建て替え	19	●●●●●	●●●●●	●●●●●			●(7/19)
大規模な改修	8		●●	●●●●●			
補強・補修	116			●●●●●	●●	●	●
被害なし	61			●	●		●●

建物世代別の被災状況

	建て替え	大規模改修	中規模改修	全被災校
～昭和25年	0.9%	8.9%	4.2%	14.0%
昭和26～35年	5.1%	4.7%	11.0%	20.9%
昭和36～45年	8.2%	5.1%	16.0%	29.3%
昭和46～55年	0.3%	2.1%	6.1%	8.5%
昭和56年～	—	1.0%	2.9%	3.9%
合計	1.8%	3.0%	6.7%	11.5%

※該当する年代に建設された校舎全面積をもとに算出
(阪神・淡路大震災と神戸の学校教育：神戸市教育委員会より)

2.2 主構造の被害

倒壊・大破の校舎でも
その多くは原形をとどめている。



倒壊と判断された神戸市立飛松中学校(須磨区)5号館

2.3 二次部材, 校舎廻り, 什器・備品の被害

ガラスや天井, 備品類の被害が目立つ

授業時間帯の場合, 構造的被害より
備品等の被害による児童・生徒の危険性が高い

ガラス

		ガラスの破損枚数				合計
		被害なし	～10枚	～100枚	100枚～	
構造 被害	被害なし	39	14	8	0	61
	簡単な補修	57	34	21	4	116
	大規模改修	2	1	4	1	8
	建て替え	3	8	6	2	19
合計		101	57	39	7	204

天井部材

		天井破損の有無		合計
		被害なし	被害あり	
構造 被害	被害なし	43	18	61
	簡単な補修	53	63	116
	大規模改修	5	3	8
	建て替え	9	10	19
合計		110	94	204

グラウンド

		グラウンド被害の有無		合計
		被害なし	被害あり	
構造 被害	被害なし	45	16	61
	簡単な補修	69	47	116
	大規模改修	3	5	8
	建て替え	5	14	19
合計		122	82	204

什器・備品

	書庫	ロッカー	金庫	本棚	テレビ	特別教室 備品類	特別教室 実験実習机	その他	有効回答 数
被害のあった学校数	115	72	36	113	136	94	37	36	203
平均破壊・落下数	7.0	10.3	1.4	6.1	6.0	5.4	10.0	4.2	—

学校建築の構造的被害 / 倒壊, 大破

大橋中学校（長田区）



北グラウンド 左のテントが物資集配所 奥が仮設風呂

避難所となった学校